

2019年7月5日

関係者各位

日本農産工業株式会社

弊社競走馬用飼料添加物の禁止薬物検出に関わる調査結果等につきまして

6月15日にリリースいたしました弊社競走馬用飼料添加物（製品名「グリーンカル」／製造元：ニッチク薬品工業(株)（弊社子会社／以下「ニッチク社」）の禁止薬物検出に関して、原因究明の調査結果および対応につきまして、以下の通りご報告申し上げます。

1. 禁止薬物検出の原因について

原因究明のために「グリーンカル」に使用されている各原料の薬物検査を民間検査機関にて実施し、アルファルファミール（牧草粉末／以下「当該原料」）のみからテオブロミンが微量ながら検出され、当該原料が原因であると特定いたしました。

併せて当該原料を製造する供給元を確認したところ、国内の同一建屋内の離れた場所にある別の設備でカカオ豆副産物（カカオ豆はテオブロミンを含有しています）を粉砕しており、粉砕した際に発生する粉じんが当該原料に意図せず混入した可能性が高いと考えております。

なお、ニッチク社は従来より同一の製造設備を使用して「グリーンカル」を製造しております。ニッチク社における製造記録を確認した結果、製造工程における混入は無いと考えております。

2. 禁止薬物の検査について

禁止薬物に関わる管理において、弊社では「新規原料の追加を伴う変更」等を行う場合に禁止薬物に関わるロットの変更とみなし、当該ロットの出荷前の薬物検査を公益財団法人競走馬理化学研究所（以下「競理研」）にて実施する事としておりました。

従いまして、同一配合率・同一製造工程の製品については、禁止薬物に関わるロットの変更とみなさず、食品等の安全管理で一般的な工程管理の考え方にに基づき、年1回のモニタリング検査として、競理研にて薬物検査を実施しておりました。

これは日本中央競馬会様（以下「JRA」）の薬物検査の考え方について、弊社の理解の下、弊社にて定めた手順であり、結果としてJRAの薬物検査の考え方と弊社の理解とは齟齬がある形となっております。

3. 対応について

原因である同供給元からの当該原料は、弊社競走馬用製品において、「グリーンカル」以外には使用されていないことを確認しております。また、「グリーンカル」は6月14日に販売店様に使用停止を即座にお願いすると共に、流通中の製品も含め全品の回収を進めてお

ります。

当座の対応といたしまして、当該原料の代替供給元が確保されるまでの間、「グリーンカル」の製造・販売を自粛いたします。また、禁止薬物を含む植物等が混入することのないよう品質管理を徹底いたします。

今後の禁止薬物の検査につきましては、JRA と相談・確認しながら適切な手順で実施していくことといたします。

この度の事態につきましては、お客様、関係各位ならびに競馬ファンの皆様に多大なご迷惑・ご心配をお掛けしたこと、深くお詫び申し上げます。

お問い合わせ先

日本農産工業(株)経営企画室

横浜市西区みなとみらい2-2-1 ランドマークタワー46階

電話045-224-3717 ファクシミリ045-224-3721

メール : info@nosan.co.jp

受付時間 : 午前9時～午後5時 (土・日・祝日等を除く)

*7月5日(金)は午後8時まで受付致します。

*7月6日(土)、7日(日)は受付致します。

以上